



学校だより

6月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 保科 桂子

令和8年5月31日

〒232-0061 横浜市区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

親子の会話

校長 保科 桂子

あた 新^{あたら}しい学年^{がくねん}がスタートして2^{げつ}か月^こ。子どもたちは、学校生活^{がっこうせいかつ}にすっかり慣^なれた様子^{ようす}です。その一方で、衣服^{いふく}の調節^{ちょうせつ}が難^{むずか}しく、体調^{たいちよう}を崩^{くず}しやすい時期^{じき}でもあります。疲れ^{つか}もあって、心^{こころ}や体^{からだ}が少し不安定^{ふあんてい}になりやすい「中^{なか}だるみ」の時期^{じき}かもしれません。雨^{あめ}の日^ひが多^{おほ}くなり、おうちで過^すごす時間^{じかん}が増^ふえるこの6月^{がつ}。ご家庭^{かてい}での「親子の会話^{おやこかいわ}」を少しだけ意識^{いしき}してみてもいいでしょうか。

わたし 私は管理職^{かんりしよく}になる前^{まえ}、家庭科専科^{かていかせんか}の担当^{たんとう}をしていました。5年生^{ねんせい}の家庭科^{かてい}では、ミシン^{きしん}を使って製作^{せいさく}する学習^{がくしゅう}があります。(藤の木小^{ふじのきしょう}の5年生^{ねんせい}たちも、秋^{あき}ぐらいに学習^{がくしゅう}します。)夏頃^{なつごろ}の手縫^{てぬい}いの製作^{せいさく}では、「針^{はり}の穴^{あな}に糸^{いと}が通^{とお}らない」「玉結^{たまむす}びが難^{むずか}しい」「玉止^{たまど}めがきれいにでき^{でき}ない」と苦勞^{くろう}しながら、ワッペンやティッシュケース^{ちしきぎのう}を製作^{せいさく}し、「縫^{ぬい}う」ことについての知識^{ちしき}・技能^{ぎのう}を高^{たか}めました。その経験^{けいけん}を踏^ふまえて、ミシン^{きしん}の安全^{あんぜん}な操作^{そうさ}の仕方^{しかた}を学^{まな}んでいきました。

「ミシンは機械^{きかい}なので、正しい操作^{そうさ}をしっかりと覚え^{おぼ}えましょう」

「お友達^{ともだち}や先生^{せんせい}なら、『ちょっとくらいいいじゃん』『なんでもいいよ』が通用^{つうよう}するかもしれませんが、機械^{きかい}はそうはいきません。ちょっとでも間違^{まちが}えると、縫^{ぬい}えないし、故障^{こしょう}やけがにつながります。」



「まずは手^てで縫^{ぬい}う速^{はや}さで、ゆっくりコントローラー^ふを踏^ふみましょう」

と声^{こえ}をかけて指導^{しどう}した覚え^{おぼ}えがあります。ミシン^{きしん}で縫^{ぬい}うには、糸^{いと}のかけ方^{かた}、縫^{ぬい}いはじめや縫^{ぬい}い終わり、まっすぐな縫^{ぬい}い方^{かた}、角^{かく}の曲^まがり方^{かた}と、押^おさえるポイント^{ひと}がたくさんあります。一人^{ひとり}ではなかなか覚え^{おぼ}えられません。そこで、ペアで「ミシン^{きしん}を操作^{そうさ}する人^{ひと}」「声^{こえ}をかける人^{ひと}」と分担^{ぶんたん}して学習^{がくしゅう}を進^{すす}めます。「声^{こえ}をかける人^{ひと}」が、「口^{くち}は出^だしても手^ては出^ださない」で、一緒^{いっしょ}に確認^{かくにん}をしながら学習^{がくしゅう}を進^{すす}めるのです。そうやって安全^{あんぜん}なミシン^{きしん}の操作^{そうさ}を習^{しゅう}得^{とく}し、ランチョンマットや手提^てげなどの袋^{ふくろ}の製作^{せいさく}を行い、「自分^{おの}の力^{ちから}で、生活^{せいかつ}に役立^{やくだ}つものを作^{つく}ることができた」と一人^{ひとり}ひとりのお子^こさんが達成^{たっせい}感を味^{あじ}わうことができました。

さて「言^いわなくてもわかるだろう」「そのくらい察^{さつ}してよ」「いつも一緒^{いっしょ}にいるのだから」と、家族^{かぞく}や身近^{みぢか}な人^{ひと}には思^{おも}いがちです。しかし、現在^{げんざい}は親^{おや}も子^こも忙^{いそ}しい毎日^{まいにち}を送^{おく}っています。たまにはゆっくりとした親^{おや}子^この会話^{かいわ}も必要^{ひつよう}かもしれません。悪^{あく}意^いなんて全^{まった}くなくても、「別^{べつ}に」「普通^{ふつう}」などの何気^{なにげ}ない一言^{ひとこと}で会話^{かいわ}が終^おわってしまい、時^{とき}には口喧嘩^{くちげんか}の元^{もと}にもなります。

「今日^{きょう}の給食^{きゅうしょく}、何^{なに}がおいしかった?」「休^{やす}み時間^{じかん}は何^{なに}をして過^すごしたの?」など、具^ぐ体的^{たい}な場面^{ばめん}をピンポイントで聞^きいてみてください。お子^こさんが話^{はな}し出^だすきっかけになるかもしれません。

何^{なに}かを話^{はな}してくれたときは、まず「そうなんだね」「がんばったね」と、そのま^きまの気持^{もち}ちを受け止^とめる(傾聴^{けいちょう}する)ことが、お子^こさんの安心^{あんしん}感^{かん}に繋^{つな}がります。大人^{おとな}がアドバイス^{いそ}を急^{いそ}ぐよりも、ただ「聴^きいてくれる存在^{そんざい}」がいるだけで、学校^{がっこう}での疲れ^{つか}れやストレス^{あした}をリセッ^{あした}トし、明日^{あした}へのエネ^えルギーを蓄^{たくわ}えることができるのです。ご家庭^{かてい}での温^{あたた}かい会話^{かいわ}が、梅雨^{つゆ}の季節^{きせつ}でも、お子^こさんの心^{こころ}に明^{あか}るい虹^{にじ}をかけますように。学校^{がっこう}でも、子^こどもたちが自分^{じぶん}の思^{おも}いを言葉^{ことば}で伝^{つた}え合^あい、相手^{あいて}の言葉^{ことば}に耳^{みみ}を傾^{かたむ}ける姿勢^{しせい}を大切^{たいせつ}に育^{そだ}ててまいります。

今月^{こんげつ}も、健康^{けんこう}で元氣^{げんき}に過^すごせるよう、温^{あたた}かい見守^{みまも}りをよろしく願^{ねが}いいたします。